

令和8年度第4回薬事審議会化学物質安全対策部会化学物質調査会
令和8年度化学物質審議会第1回安全対策部会
第 266 回中央環境審議会環境保健部会化学物質審査小委員会
【第一部】

議事要旨

日 時 令和8年7月24日(金)13 時 00 分 ～13 時 50 分
場 所 経済産業省内会議室 及び オンライン(ハイブリッド)

議 題

1. Weight of Evidence を用いた優先評価化学物質の分解性の評価について
2. その他

議 事

会議は公開で行われた。

○議題1について

Weight of Evidence を用いた優先評価化学物質の分解性の評価について審議が行われ、事務局案が了承された。個別物質の評価結果は、優先評価化学物質 通し番号 205「オキサシクロヘキサデカン-2-オン」は、良分解性として、スクリーニング評価・リスク評価を行うこととされた。

○議題2について

その他として、以下2点が報告された。

- ・ 不純物として含まれる第一種特定化学物質の今後の管理については、不純物として含まれる MCCP の基準値を設定する。
- ・ 優先評価化学物質 通し番号 218「モノ(又はポリ)クロロアルカン(C=14～17、直鎖型)」(以下「優先 218」という。)については、MCCP の第一種指定化学物質への指定が施行される令和8年 11 月 22 日に優先評価化学物質の指定を取消す。優先 218 から MCCP を除いた評価単位については、令和5年度実績の優先 218 の届出情報が全て MCCP を除いた評価単位の化学物質であると仮定して実施したスクリーニング評価結果に従い、優先評価化学物質に指定せず、今後も今般と同様の評価単位において一般化学物質としてスクリーニング評価を行う。
なお、今後の対応については、生態影響の有害性に関して、一定程度の毒性がある可能性があることを示した上で有害性情報の提供依頼を行い、今後届け出られる同評価単位の製造・輸入数量等の届出情報を用いて付与する暴露クラスを使用して改めてスクリーニング評価を行う。